

電気通信大学 平成18年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|-----------|
| 授業科目名 | ガイダンス論 | | |
| 英文授業科目名 | Education Guidance | | |
| 開講年度 | 2006年度 | 開講年次 | 1～4年次 |
| 開講学期 | 前期集中 | 開講コース・課程 | 昼間・夜間主コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | |
| 科目区分 | 教職科目-生徒指導, 教育相談及び進路指導等に関する科目- | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 大野 久 | | |
| 居室 | 非常勤講師 | | |

| | |
|----------------------|---|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| onohisa@rikkyo.ac.jp | http://www.rikkyo.ne.jp/grp/cri/ken/vin/oono_h.html |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| 青年期の人格発達をE.H.Eriksonのアイデンティティ理論を中心に学び、自己分析を含め、青年期の生涯発達における位置づけとその心理を理解する。その上で、青年たちへの進路指導の重要性を学び、具体的な進路指導の考え方を理解する。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし。 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし。 |

| |
|-----------------------|
| 【教科書等】 |
| 特に定めない。講義中に参考図書を紹介する。 |

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

講義内容 青年期の心理と進路指導について、以下の内容について1コマ1項目から2項目講義する。

- 1) エリクソンの漸成発達理論
- 2) アイデンティティとは何か
- 3) アイデンティティのバリエーション
- 4) 危機論
- 5) アイデンティティ・ステータス
- 6) 親密性
- 7) 生殖性
- 8) 漸成発達理論から見た進路指導の意味
- 9) 具体的な進路指導の考え方

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

講義中の小レポートと、最終レポートの成績で評価する。

課題となるすべてのレポートの提出が必須である。

特に、講義で得た知識の他、それを実際に用いることによる自己分析の洞察力、表現力と、他者の心理に関する共感的理解の能力が評価の対象となる。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

まず、自分を知ること、そして、相手を知ることが学ぼう。

【その他】